

P C B 処理事業に係る環境保全協定について

1 協定の趣旨

今回の環境保全協定は、北九州市環境基本条例に基づき、P C B 処理事業の実施に伴う環境負荷を低減し、環境汚染の未然防止と良好な生活環境の確保を図ることで、市民の健康の保護と地球環境の保全に資することを目的として締結するものである。

2 締結の理由

(1) P C B 処理施設は、廃棄物処理法の基準が適用され、既に安全性に関して法的な要件を満たしている。しかしながら、安全性の確保について万全を期するため本協定が必要と判断した。

(2) 本市が、P C B 処理施設の受入にあたり設置した「北九州市 P C B 処理安全性検討委員会」においても「環境保全協定の締結」が提言された。

以上の理由により、北九州市環境基本条例に基づく環境保全協定を締結することとした。

3 協定の特徴

今回の環境保全協定は、排気や排出水等による公害の防止に加え、環境事業団の安全かつ適正な事業を実施する責務と方策
処理実績等の情報公開や処理施設の市民への公開
などについて規定した。

なお、環境基本条例の規定に基づく環境保全協定の締結は、今回が初めてである。

4 協定の主な内容

(1) 環境事業団の責務規定 (第 2 条)

本市が環境省に対して示した P C B 処理事業に係る条件及びそれに対する環境省の回答を踏まえ、総合一貫処理体制の構築や地域密着型の事業の実施等、環境事業団が安全かつ適正な事業を実施する責務を包括的に規定した。

(2) I S O の取得等の環境保全対策の推進 (第 3 条)

自主的な環境管理を行い、P C B 処理施設の安全な運転を推進するため、操業開始後できるだけ早い時期に、I S O 1 4 0 0 1 の取得等の環境マネジメントシステムの構築を行うことを規定した。

(3) 廃棄物の受入基準、受入計画の策定 (第 4 条)

安全かつ適正な P C B 廃棄物の収集運搬等を確保するために P C B 廃棄物の受入基準や受入計画を策定することを規定した。

(4) 大気汚染物質の排出管理目標値の設定 (第 6 条)

P C B 処理施設から発生する排気については、法律等による規制値はないが、安全な操業に万全を期するため排出管理目標値を定めた。

(5) 緑地の整備 (第 1 2 条)

今までの公害防止協定では定めていなかった緑地の割合の数値目標を 2 5 パーセントと規定した。

(6) P C B 処理事業に係る情報の公開 (第 1 8 条)

P C B 処理事業に係る市民の理解の促進を図るため、環境モニタリング結果、操業状況等の各種情報の公開を規定した。